

2年「レオ・レオニの世界と海」

	書名	著者名	出版社	内容
1	ひとあし ひとあし	レオ・レオニ 谷川俊太郎 訳	好学社	しゃくとりむしは、小さいけれどとてもか しこい。小枝に止まっていたコマドリに食 べられそうになり、しっぽをはかってやり 助かった。フラミンゴ、おおはし、サギ… とはかり、美しいナイチンゲールの歌をは かれと言われた。はたして、歌をどうやっ てはかるのか？はかれるのか？
2	フレデリック	レオ・レオニ 谷川俊太郎 訳	好学社	仲間のノネズミが冬にそなえて、食べ物を 集めている夏の午後、フレデリックだけ は、何もせずぼんやりすごしていた。「ぼく はお日様の光を集めているんだ。」「…色 を…。」「…ことばを…。」と言っていた フレデリック。寒い冬が来て、食べ物は何 もなくなってしまった。フレデリックやノネ ズミたちはどうするのか？
3	アレクサンダとゼ ンまいねずみ	レオ・レオニ 谷川俊太郎 訳	好学社	ねずみのアレクサンダは、アニーにちやほ やされているおもちゃのウィリーが、うら やましくてならない。ある日、アレクサンダ はウィニーから、「生き物をほかの生き物 に変えることのできる、まほうのトカゲが すんでいるそうだよ。」と、聞いた。アレク サンダは、トカゲに会いに行ってみた。す ると、…
4	フシギなさかな	尾崎たまき 写真	新日本出版社	長い顔にストローのような口。それは、海 にすむヒメタツ。タツノオトシゴの仲間だ。 おなかのポケットで卵を守り、赤ちゃんを 産むのは、お父さん。一体どうして？どう やって？ヒメタツのひみつを写真で紹介 する科学絵本。
5	にじいろのさかな うみのそのぼう けん	マーカス・フィ スター	講談社	きらきらうろこの最後の1枚を、深い海に 落としてしまったにじうお。友だちに止め られたが、どうしても自分のうろこを取り 戻したくて、深い海にもぐって行った。途 中で出会ったピンクに光るじゅうもんじだ こが、一緒にうろこを探してくれる が、…。